

永平寺だより

長男孝純（呼び名全堤）は安居して二年半になる。

侍真寮内、

供真補の配

役をいただ

き御征忌法

要を無事お

勤めいたし

ました。



侍真寮員

二男秀孝は上山してからもうすぐ七ヶ月、現在大庫院にて修行中、午前三時起床で精進料理作り。

安居：永平寺修行の期間

供真補：承陽殿（道元禅師御真廟）のお

世話係。

御征忌：九月二九日の道元禅師のご命日

を偲び、九月二三日～二九日までの一

週間、法要を厳修する。

大庫院：修行僧の食事を司るところ。毎

日のご飯炊きも大切な修行である。

梅花だより

十月二二日～二三日宗務所秋季師範会 於月岡摩周 講師は久我経二師範。

十一月二九日、三十日の両日宗務所検定会 当寺からも数名受検する。

平成二十年二月十九日～二十日檀信徒講習員一泊講習会 於月岡華鳳 募集300名

平成二十年十月二八日～三十日檀信徒講習員本山奉詠 於大本山永平寺 募集200名

梅花講習員募集



梅花流詠讃歌を勉強しませんか。

当寺では月二回練習会を開催し御詠歌を通して仏教を学んでいきます。検定、大会あり。巡礼（観音参り）には御詠歌を奉詠してお参りします。

仏事の知識 お斎、直会

仏事（葬儀、年忌等）では法要後の食事のことをお斎（とき）と言い、親族、知人が集い、僧侶を交えて会食する。本来のお斎は修行僧の食事（精進料理）であったが、一般にも使われるようになった。仏事の後の故人を偲び、故人にも杯を献じ、故人と共に頂く食事であり、宴会でないことに注意したいもの。

直会（なおらい）という言い方は、神社に於ける神道の食事のこと。神事に参加したものが神酒をいただき神饌を食する。平常に直ることの意味もある。

段くずしは、葬儀後お手伝いいただいた関係者と最後に「苦労様の食事をする」こと。

現在、葬儀後の本膳は普通のお料理であるが、昔はまな板直しと言って、四十九日終わって初めて生ものを食べた。今でも初七日過ぎるまでは生ものは食べないという地方もある。

寂光塔(永代供養塔)

動物供養塔(ペットのお墓)

広蔵寺ホームページ <http://www.kogonji.jp/> アクセス数50000超！